
幻想恋歌

鴉野 兄貴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幻想恋歌

【Nコード】

N1818BA

【作者名】

鴉野 兄貴

【あらすじ】

ファンタジー世界で伊勢物語。 翻案小説。

一段（前書き）

原作の面影は欠片もないのと、著作権がとつくの昔になくなっていくはずなので二次扱いにはしていません。

原作は「伊勢物語」ですが、原作のほうが圧倒的に面白い（文字数が少ない）ので、

機会があったら是非是非！お勧めです！

一段

古い廃都の廃れた屋敷に住まう美しい娘たちがいた。かつては高貴なる家柄にして血筋であつたろうが、今は姉妹ふたりで力を合わせ、小さな畑を耕し、魚を捕り、慎ましく静かに生きていた。

ある日のことだつた。

「お姉さま？お姉さま？」妹の呼びかける声に姉は応えた。

「私はここにいますか」

「????あれ????あちらに人の気配がしたのですが」妹の問いかけに姉は不吉なものを感じた。

二人の両親が死んで以来、妹以外の人間は見たことがない。妹の指す方角を見ると、何かがはためいていた。

危険がないか確認した姉は樹木の枝にかかったそれをそつと手に取つた。

「絹ですね」「いつたいどなたか」

「野党の類は絹などを着るとは思えませんか」姉は妹に言う。

「一人で出歩いてはいけませんよ」「はい。お姉さま」

「食事にしましょう」「ええ。お姉さま」

太陽は昇り、日は暮れ、月が輝き、また朝が来る。水が流れるように時は流れ、月日も過ぎる。

ある日の事。

「お姉さま！お姉さま！」泣き叫ぶ妹の声。

「その手を離しなさい！下郎め！」

叫ぶ姉の両手は下卑た男たちの手に掴まれ動くことも叶わない。

妹を押さえ、狼藉を働こうとする野党の首。

卑猥な笑みを浮かべたまま、ふわっ。胴が失われる。

赤い海。赤い花。赤い炎。

姉妹が気づくと、野党たちは皆事切れていた。

その中央に、赤い滴りを手にした色白の青年。

絹でできた服は血で染まり、その袖は大きく破れていた。

血に染まった服だが、その袖の破れは。

姉はあの絹を取り出した。

「あ……あの……」

「貴女の所為です」青年は微笑んだ。

「?????」

「この袖が破れたのは、貴女への想いを綴る紙がなかったから。

悪党共があなた達を狙ったのはあなた達が美しすぎたから。

私が蛮勇に挑んだのはあなた達が愛おしかったから」

青年は微笑むと剣を納めた。

「美しい貴女。この責任をとってください」

「あの」姉妹は応えた。

「私たちが、字が読めないのですが」

てつきり袖を引っ掛けただけと思ってました。と答える二人に

青年は苦笑した。

一段（後書き）

不定期更新です。気が向いたら更新。

二段（前書き）

幼く美しい少女には気の効いた口説き文句が出るのに、
どうして想い人にはいえないのでか。
夫のある女性に恋をした青年の章。

二段

第二段。

古い都を捨てた人々が移り住んだ新しい都は、まだ建設中であつた。古い都がかつて持っていた美しさは新しい都にはまだ無いが、代わりに活気があつた。

その中でも建設中の地域は騒がしい。家を建てる大工や技師、職人や坊主、役人など下賤だが元気な人が集まっている。

こういつたところに住まう女性がいた。身分とは縁遠い人々とも優しく接し、夫を支え、都市の建設を助ける彼女は、姿かたちの美しさより心の美しさで人を惹きつける人だった。

青年もまた、皆が笑つて暮らせる都作りを支えたいという彼女の思いに応える為、未熟ながらも役人として力を振るう日々を送っていた。

青年はある日、意を決して夫のいない日に彼女の館を訪れた。女性は年下の美しい青年をもてなし、励ましてくれた。美しく、優しい彼女に熱い想いを伝えたいのに、言葉は空回りするばかり。

そうしているうちに彼女の夫が帰ってきた。

起きても寝ても、春の夢のように彼女の笑顔が忘れられない。青年はそう心に思いつつ、夫婦の見送りを受けて家を後にした。

「ここがいい」彼はそう言って車から降り、雨に打たれながら帰路についた。

二段（後書き）

もうちょっと話を広げられなかったものかORZ
ほとんどまったくかわらんやん！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1818ba/>

幻想恋歌

2012年1月6日17時48分発行